



# いしかり局ちゃんねる

令和4年2月18日 第11号

令和3年12月9日(木)に、いしかり局ちゃんねる～今、小中高生の保護者に伝えたい10のこと～において、「その気にさせる、やる気をなくす、家庭学習～年末に向けた教科別、学年別のつまづきポイント～」を、Web会議システムのZoomにより配信しました。

本通信では、各学校で行っている家庭学習の工夫例を紹介します。学校や家庭で家庭学習の充実に向け、参考としてください。

## その気にさせる 家庭学習の工夫

### 1 家庭学習の大切さを子どもと保護者に伝える

多くの学校では、「家庭学習の手引」を作成して、家庭に配付しています。家庭学習の手引には、学習の進め方に加えて、「なぜ学ぶのか」など、家庭学習の大切さや内容の例を載せています。子どもに、習慣をしっかりと身に付け、学力の向上につながるよう、保護者のみなさんと一緒に取り組みたいと考えています。

#### 家庭学習の意義

##### ①学習内容の定着

学校で学習したことと、家庭で復習することにより、北京市認証にとげられます。特に、算数、漢字や計算などは、毎日少し残し練習することで定着していきます。

##### ②学習の活性化

子供の興味を引き出すように、取り組み方は決まりません。毎日続けることで、やがて「当たり前の」の習慣になります。少しでも継続することで、大活躍につながります。

##### ③学習習慣を付けける

毎日家庭学習を続けることにより、日々の習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて「当たり前の」の習慣になります。少しでも継続することで、大活躍につながります。

##### ④問題の読み込み

「問題を読み取ってあげる」「口にけをしてあげる」「わからぬときは、一緒に考えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子供に想が寄ることによりコミュニケーションが生まれます。家族の間で情報交換するときは、子供の気持ちだけにいつもつながります。

### 家庭学習の手引(例)

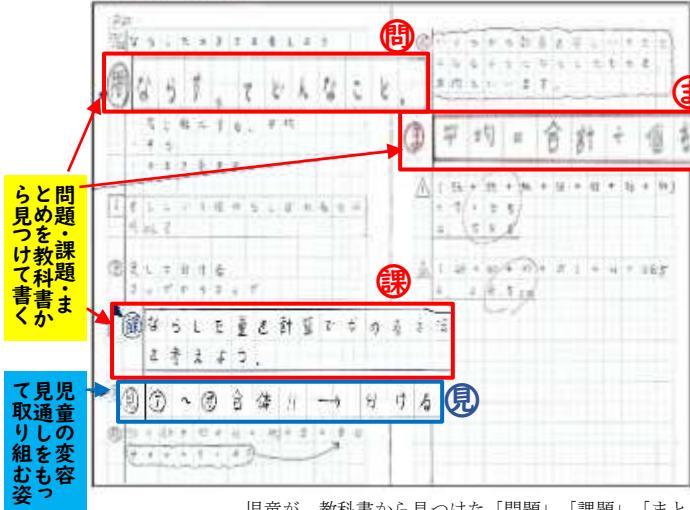
### 2 学校が行っている家庭学習の工夫

#### (1) 次の日の予習として、自主学習に取り組む

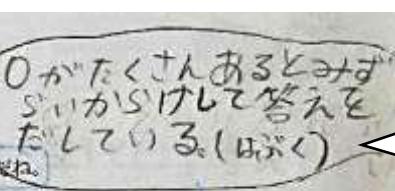
千歳市立緑小学校では、翌日の授業に向けて、自主学習で予習に取り組んでいます。ノートには、問題、課題、まとめを教科書から見付けて書きます。予習に取り組むことで、児童が見通しをもって授業に臨むことができ、学習内容の理解を深めることができました。今年度は、授業とのつながりが分かりやすいように、教科書に書き込む方法に変更して取り組んでいます。

#### 家庭学習ノート（小学校第5学年）

##### 5年生の予習ノート



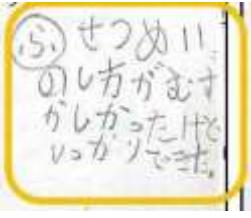
#### 教科書に書き込む予習（小学校第4学年算数）



気付いたことを吹き出して書く

自分でまとめる  
0.001をもとにする。

自分の言葉でまとめる



予習の振り返りを書く（分からなかったことや疑問に思ったことなど）

### 保護者の皆様へワンポイント

お子さんが予習をしていたら、「明日はどんな勉強をするの?」「分からない問題は先生に質問してる?」など、学校の学習の様子を話題にしてみてはいかがでしょうか。

## (2) よい取組を掲示し、学級、学年、全校児童で見えるようにする

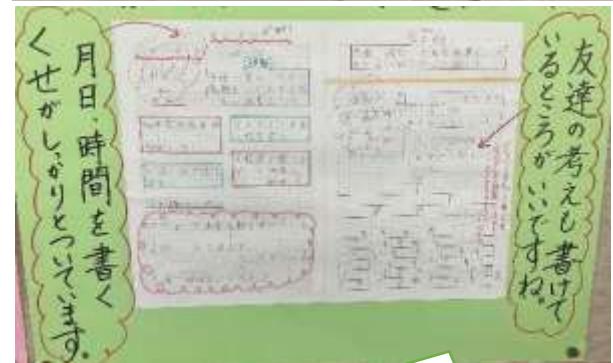
千歳市立日の出小学校では、子どもたちが提出した家庭学習ノートの好事例を掲示することで、どのように取り組むとよいか、工夫したところを示し、家庭学習の取組を広げています。教室内に掲示をすれば学級で、教室前廊下に掲示をすれば学年で、児童玄関などに掲示をすることで全校児童で、取組を共有することができます。

全学級の家庭学習ノートを定期的に掲示し、全校児童で共有する取組  
(千歳市立日の出小学校)



## (3) 先生方のコメントが子どもたちの気持ちに火を付ける

千歳市立日の出小学校の校内に掲示されたノートには、どれも学級担任や担当教科の先生方からのコメントが書かれています。そこには頑張りをほめる内容だけではなく、家庭学習の取組のよいところが具体的に書かれています。これは取り組んだ本人だけでなく、コメントを読んだ他の子どもたちにとって家庭学習に取り組むヒントになります。



家庭学習ノートと先生のコメント  
(千歳市立日の出小学校)

### 保護者の皆様へワンポイント

お子さんの家庭学習ノートに目をとおし、「先生、こんなところをほめてくれているんだね。」「〇〇できているところがすてきだね。」など、学校の先生のコメントを参考に、言葉で伝えると子どもたちのやる気アップにつながります。

## (4) 個人の積み重ね、学級での積み重ねの見える化

江別市立中央小学校では、1年間取り組んだ家庭学習ノートを個人で重ねて保管したり、学級内で「ノートタワー」にして表現したりすることで、取り組んだ量が見た目に分かるようにしています。

また、量の多さを競うことだけにならないよう、先生方はノートにアドバイスを書いたり、その日の家庭学習で取り組んでほしい内容やポイントを授業で伝えたりするなど、家庭学習がより充実したものとなるよう子どもたちに働きかけています。



### 保護者の皆様へワンポイント

お子さんが、1年間をとおして取り組んだノートやワークなど、家庭学習で使ったものを残し、家庭での頑張りを見るようにしてみてはいかがでしょうか。お子さんも、自身の努力の積み重ねを実感できると思います。

学級全員の家庭学習ノートを積み重ね、頑張りを共有する取組  
(江別市立中央小学校)

## お子様の家庭学習がより充実するためのポイント

- ① 「今日は、何をやってみたいのかな?」  
→ 「今日は〇〇するよ」 お子さんの口から計画を言えるようにたずねてみましょう。
- ② 「今日はどんなことを勉強したのかな?」  
→ 「今日は〇〇したよ」 内容を重視しましょう。そこに、時間も加わればさらによいですね。
- ③ できていることや頑張っていること、続けられていることをほめてあげましょう。
- ④ お子さんが好きなことや興味のあることから始めてみましょう。